

No. 364
2001年
11月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3階
電話(03)3815-3351 代 Fax(03)3815-3352
http://www.orsj.or.jp/

● 日本 OR 学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年 OR 学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞を除き、平成 14 年 1 月 31 日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5 賞の概要は次のとおりです。

【文献賞】 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

1. 論文は独創性と将来性に富み、OR の発展に寄与するものであること。
2. 論文は OR 学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年（平成 13 年の 1 月 1 日より 12 月末日までに発行されたものをいう）に発表された論文であること。
3. 被推薦者は OR 学会員で、年齢は原則として 40 歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

【実施賞】 OR の実施を強く推進してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(株)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)、NTT 研究開発本部、秩父小野田(株)、富士通(株)ソフトウェア事業本部ミドルウェア事業部、(株)ゼクセル技術本部、(株)数理システム、日本ガイシ(株)等、企業、団体が主な受賞者でした。

【普及賞】 OR の普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森田繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、斎藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、

三上 操、小田部 斎、原野秀永、千住鎮雄、依田浩、刀根 薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治、御園生善尚、矢部 眞、本告光男、渡辺 浩、伊理正夫、高橋磐郎、権藤 元、牧野都治、海辺不二雄、小笠原曉、青沼龍雄、松井知己の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本 IBM(株)、NTT、日本国有鉄道の各企業、団体が受賞者でした。

【事例研究賞】 学会員の行ったすぐれた事例研究に対して贈られます。学会員個人に限らず、学会員を含むグループも対象になります。事例研究の対象としては、OR の教育・実務において広く学会員に役立つソフトウェアの開発も含まれます。但し、その研究は、学会誌、学会の大会等、本学会において発表（ソフトウェアの場合はデモンストレーションを含む）されたものに限り、

なお、ソフトウェアの開発の場合は、そのソフトウェアの本体あるいはサブセット版（機能限定等）が無償で学会員に提供されることが前提になりますが、本体が市販される目的で開発されたかどうかは問いません。

【学生論文賞】 学生による OR に関するすぐれた研究に対して贈られるものですが、米春提出される学部卒の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成 14 年 3 月 31 日といたしますが、詳しい募集要領は、OR 誌 2 月号に掲載します。

(表彰委員会)

● 第 47 回シンポジウム

日 時：平成 14 年 3 月 26 日(火) 13:00~17:45
場 所：富山国際会議場 大手町フォーラム 多目的会議室 201 (富山市大手町 1 番 2 号)

テーマ：「これからの情報通信と OR」

情報通信分野における最近のトピックスから近未来のネットワーク社会像に至る広範囲な話題から、OR の課題や活用対象など、これからの OR と情報通信との接点、関係を探る。

実行委員長：片山 勤 (富山県立大学)

問合せ先：小林 香 (富山県立大学)

Tel.0766(56)7500 (内線 482)

E-mail: kaori@pu-toyama.ac.jp

* 学会ホームページ <http://www.orsj.or.jp> をご覧下さい。

● 平成 14 年春季研究発表会

日 程:

平成 14 年 3 月 27 日(水), 28 日(木) 研究発表会
3 月 29 日(金) 見学会

場 所: 富山国際会議場 大手町フォーラム (富山市
大手町 1 番 2 号)

特別テーマ: 「地方分権と OR」

平成 11 年地方分権一括法が制定され, 地方分権の推進が強く求められている。多様化・複雑化した価値観・ニーズに対応した地域づくり, まちづくりをすすめる, 個性豊かな地域社会を形成するための方策を探ることは, OR の重要な挑戦課題である。

特別テーマに関連して特別セッション「行政と評価システム」を設け, 研究発表の募集を行うので, 奮ってご応募下さい。

実行委員長: 中島恭一 (富山県立大学)

特別講演: 一般公開 (入場無料)

3 月 27 日(水) 16:10~17:30
多目的会議室 (2 階)

「日本海学のすすめ」

中井徳太郎 (富山県生活環境部長)

「深層水のひみつ」

古米 保 (富山県立大学教授)

3 月 28 日(木) 10:50~11:50
メインホール (3 階)

「前田藩と地方分権」

嶋崎 丞 (石川県立美術館館長)

事前振込み参加費: 正・賛助会員 6,000 円, 学生会員
2,000 円, 非会員 8,000 円

当日申込み参加費: 正・賛助会員 7,000 円, 学生会員
3,000 円, 非会員 10,000 円

登壇料: 非会員のみ, 参加費と別途 2,000 円/件 (本
学会の許可が必要)

* 事前振込みは 2 月号に綴込みの振替用紙にて 3 月
15 日(金)までにお振込み下さい。折り返し, メール又は FAX にて受付番号をお知らせ致します (欠
席の場合, 参加費の返金はできません。アブストラ
クト集を送付致します。)

懇親会: 3 月 27 日(水) 18:00~

富山国際会議場大手町フォーラム 多目的会議室

2 階

(懇親会費: 6,000 円)

見学会: 3 月 29 日(金)

見学先: スギノマシン(株), ほたるいかミュージアム,
富山県水産試験場, 富山の酒蔵 (榊田酒造店) など
(見学会費: 3,000 円)

発表申込締切: 平成 13 年 12 月 10 日(月) 必着

* 研究発表は, 申込書, アブストラクト, 及び著作権
の承諾書の提出をもって申し込み受付とします。

申込書請求先:

(株)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局
Tel.03(3815)3351 E-mail: kenkyu@orsj.or.jp

申込書およびアブストラクト送付先 (発表申込および
アブストラクト提出についての問合せ先):

〒930-8555 富山県富山市五福 3190
富山大学 経済学部経営学科 中島信之
Tel.076(445)6475 Fax.076(445)6419 (学部共通)
E-mail: nakanobu@eco.toyama-u.ac.jp

研究発表会についての問合せ先:

〒939-0398 富山県射水郡小杉町黒河 5180
富山県立大学 工学部 高木 昇
Tel.0766(56)7500 (内線 461)
Fax.0766(56)8022
E-mail: or2002@pu-toyama.ac.jp

* 学会ホームページ <http://www.orsj.or.jp> をご覧
下さい。

● OR 学会中部支部定例講演会

日 時: 平成 13 年 12 月 8 日(土) 15:00~17:00

場 所: (株)メイテツコム 本社 第 3, 4 会議室
(名鉄グランドホテルのエレベーターの向い側エレ
ベーターに乗り, 10 階へ, 左手側にある「太平洋
フェリー」の壁文字に向かって歩き, 右へ曲がり,
そのまま直進, 左手に(株)メイテツコムの受付。)

テーマと講師:

(1)「中部支部の生い立ちと小野勝次先生の思い出」
本告光男 (元中部電力情報システム担当支配人, 元
愛知工業大学教授)

(2)「OR 雑感」
岩田 怜 (株)メイテツコム社長)

問合せ先: 名古屋工業大学生産システム工学専攻 大
鏑史男

Tel.052(735)5393 Fax.052(735)5401

E-mail: ohi@system.nitech.ac.jp

● 平成 13 年度第 3 回 OR セミナーのご案内

『一般企業と金融工学』

開催趣旨：金融工学は、従来ともすると金融ビジネス（銀行、証券、保険など）に対する処方箋を提供する学問分野と見られてきました。デリバティブの価値付けや信用リスクの計量、制御といった“ホットな”テーマが、このような印象を与えてきたことは事実です。しかし金融工学が対象とするのは、何も金融ビジネスだけではありません。金融工学を広く“未来の不確定なキャッシュフローの定量的評価と制御”と捉えれば、一般企業におけるプロジェクト評価や、資産管理なども金融工学の重要なテーマであることは明らかです。

そこで本セミナーでは、一般企業の財務、経営企画を担当する人々を対象に、金融工学の役割について紹介していきます。

日 時：平成 13 年 11 月 13 日(火) 13:00~17:00

場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館

東京都千代田区九段北 4-2-25

(JR, 地下鉄有楽町線・新宿線・南北線 市ヶ谷駅前)

プログラム：

(1)13:00~15:00 「金融工学のパラダイム」

講師：中央大学理工学部教授 今野 浩

(a)いまなぜ金融工学か

(b)金融工学の主要課題（資産運用、資産の価格づけ、信用リスクの計量など）

(2)15:10~17:00 「投資プロジェクトの経済性評価」

講師：東京工業大学大学院社会理工学研究科助教授 蜂谷豊彦

(a)DCF と資本コスト

(b)リアルオプションの活用

テキスト：当日配布

参加費：正・賛助会員 16,000 円, 学生会員 3,500 円, 非会員 20,000 円

申込先：

(株)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

E-mail: kenkyu@orsj.or.jp

*11月5日(月)までに E-mail または FAX にてお申し込み下さい。

(10 月号に申込書の綴込みがあります。)

● 国際会議案内

・国際シンポジウム

New Trends in Optimization and Computational Algorithms (NTOC 2001)

日 程：平成 13 年 12 月 9 日(日)~12 月 13 日(木)

場 所：京大会館（京都府京都市）

主 催：文部科学省統計数理研究所

問合せ先：統計数理研究所予測制御研究系 土谷 隆

Tel.03-5421-8758

E-mail: tsuchiya@sun312.ism.ac.jp

*詳しくは、<http://www.ism.ac.jp/NTOC/>をご参照下さい。

・ISORA 2002 (4th International Conference on Operations Research and Its Applications)

上記の国際会議が、「三国志」や三峡ダム建設で有名な長江（揚子江）の観光船上で開催されます。参加可能人数（船室数）に制限がありますので、お早目のお申し込みをお勧めします。

日 程：2002 年 6 月 1 日~4 日

場 所：中国長江（揚子江）の観光船上

プログラム委員会：ZHANG Xiangsun (中国 OR 学会会長), 長谷川利治 (日本 OR 学会会長), 伏見正則, QI Liqun (Hong Kong), Siegfried SCHAI-BLE (USA), 他。

Extended Abstract (2 ページ以内) 提出期限：

2001 年 12 月 1 日

同上提出先：Prof. LIU Degang (orsc@amath8.amt.ac.cn)

採否の決定通知：2002 年 1 月 1 日

Full Paper 提出期限：2002 年 2 月 1 日

*詳細については、中国 OR 学会の web page

<http://www.orsc.edu.cn/isora02/> をご覧下さい。

国内問合せ先：fushimi@nanzan-u.ac.jp

● 平成 14 年度研究部会新設・継続申請受付

研究普及委員会では、その活動の大きな柱の 1 つとして、研究部会・グループの設立・運営のお手伝いをしてまいりましたが、来年度もこの方針に従って研究部会を積極的に育成していくことになりました。つきましては、新しい部会活動のご提案をふるって学会事務局にお寄せ下さい。

部会の設置期間は、原則として 2 年以内ですが、理事会の承認が得られればさらに 1 年延長すること

も可能です。部会が発足しますと財政的な補助も致します。メンバーの公募につきましては、当委員会がお手伝い致します。研究テーマは、基礎理論から実践研究までご自由にお考えいただいて結構です。

現在、次の部会・グループが設置されています。

待ち行列、OR/MSとシステム・マネジメント、数理計画(RAMP)、システム最適化の理論と応用、マーケティング・エンジニアリング、AHPの理論と実際、ORにおける数理システムの最適化、環境システム、ゲーム理論とその応用、数論的意思決定とその応用、評価のOR、アルゴリズムと最適化、金融工学、グローバルプロジェクトのOR、COM・APS(先進的スケジューリング)、環境政策、グローバル政策、情報流通とオープンネットワークワーキング、ファジイ動的計画法。

なお、現在2年目の部会・グループのうちで来年度も活動をご希望の場合は、継続申請をして下さい。

*新設及び継続申請の締切は、11月30日(金)です。

申請用紙は事務局までご請求下さい。

● 研究部会・グループ開催案内

[アルゴリズムと最適化]

・第3回

日時：11月10日(土) 14:00~18:20

場所：筑波大学 第3学群B棟311号室

テーマと講師：

(1)[Heuristics in Mathematical Programming and Beyond]

Ferenc Katai (株アイログ)

(2)[フィルタ理論と整数半無限計画問題]

平林隆一 (東京理科大学)

(3)[並列分枝限定法の実装]

田辺隆人 (株数理システム)

問合せ先：筑波大学電子・情報工学系 久野誉人

Tel.0298(53)5540

E-mail: takahito@is.tsukuba.ac.jp

*詳しくは、<http://kantaro.sk.tsukuba.ac.jp/saop/> をご覧ください

[待ち行列]

・第160回

日時：11月17日(土) 14:00~16:30

場所：東京工業大学 西8号館(W)809号室

テーマと講師：

(1)[Multiscale variance fitting for self-similar proc-

ess with Markov-modulated Poisson process]

筈原正治 (奈良先端科学技術大学院大学)

(2)[Matrix analytic approach to fluid queues]

Guy Latouche (Universit Libre de Bruxelles, 東京工業大学客員)

問合せ先：東京工業大学大学院情報理工学研究科 数理・計算科学専攻 三好直人

Tel.03(5734)3218

E-mail: miyoshi@is.titech.ac.jp

[システム最適化の理論と応用]

・第19回

日時：11月17日(土) 14:00~17:00

場所：九州大学経済学部 2階中会議室

テーマと講師：

(1)[プロジェクトマネジメントにおける最適化とオプション理論]

陳 曉榮, 時永祥三(九州大学大学院経済学研究院)

(2)[企業間電子商取引における情報共有一企業アンケートの統計解析]

松野成悟 (宇部高専経営情報学科)

問合せ先：九州大学大学院経済学研究院 時永祥三

(福岡市東区箱崎6-19-1)

Tel/Fax.092(642)2466

E-mail: tokenaga@en.kyushu-u.ac.jp

[評価のOR 第11回/AHP理論と実際 第9回]

研究部会合同開催

日時：12月21日(金) 15:00~19:00

場所：You-May Hall (東大和市湖畔3-972-19 高橋方, 東邦分譲地内, なお地図をご希望の方は郵送あるいはFAX送信致しますので、幹事の篠原までご連絡下さい。)

テーマと講師：

(1)[通信ネットワークにおける伝送網の選択問題へのAHPの適用]

大屋隆生 (電力中央研究所情報研究所)

(2)[ダブルス試合結果データからの個人能力推定法]

篠原正明 (日本大学生産工学部数理情報工学科)

問合せ先：日本大学生産工学部数理情報工学科 篠原正明 (〒275-8575 習志野市泉町1-2-1)

Tel.047-474-2672

E-mail: m7sinoha@cit.nihon-u.ac.jp

Homepage: <http://shinohara.su.cit.nihon-u.ac.jp>

● 会合案内

〔第 213 回新宿 OR 研究会〕

日 時：11 月 20 日(火) 12:00~13:30
 場 所：東天紅会議室(新宿センタービル 53 F)
 テーマ：「初の日本語ワープロ開発経緯」
 講 師：岩間 仁氏(大東文化大学講師)
 参加費：3,000 円
 問合せ先：日本 OR 学会事務局

● 他学協会案内

・第 32 回信頼性・安全性シンポジウム(協賛)

主 催：財団法人科学技術連盟
 日 程：平成 14 年 7 月 9 日(火)、10 日(水)
 場 所：JA ビル(東京・大手町)
 問合せ先：財団法人科学技術連盟 応用システム課
 R & MS 係
 Tel.03(5379)1224 Fax.03(3225)1814
 E-mail: h-shigeta@juse.or.jp(茂田)

● 公募案内

・電気通信大学大学院 情報システム学研究科

募集人員：教授 1 名
 所 属：情報システム運用学専攻 経営情報システム学講座
 専門分野：経営情報システム学
 担当科目：経営情報システム論, 情報社会科学基礎などの科目

応募資格：次の(1)の条件を満たすこと、さらに原則として(2)および(3)の条件を満たすこと。(1)博士の学位を有し、大学院(博士後期課程)の研究指導ができる方、(2)大学、研究機関などで教育研究活動の経験を有する方、(3)着任時年齢 50 歳~55 歳の方。

着任時期：平成 14 年 4 月 1 日

応募締切：平成 13 年 12 月 14 日(必着)

提出書類：(1)履歴書(写真貼付、学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む)、(2)研究業績リスト(著書、学位論文、学術雑誌論文、国際学会論文などに分類)、(3)学位論文(コピー可)、(4)担当職務分野の主要著書・学術論文別刷り(コピー可)、(5)研究概要および研究計画書(2000 字程度)、(6)教育実績および教育に関する見解(1000 字程度)、(7)健康診断書(8)参考となる意見を伺える 2 名の方の氏名と連絡先。

選抜方法：書類・業績審査、および必要に応じてプレゼンテーション

送付及び問合せ先：〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

電気通信大学大学院 情報システム学研究科 情報システム運用学専攻専攻主任 高瀬國克

Tel/Fax.0424-43-5655

E-mail: takase@is.uec.ac.jp

* 封筒に「経営情報システム学講座教授応募書類在中」と朱書きし、書留で郵送のこと。

* 詳しくは、上記にお問合せ下さい。また研究科ホームページは、<http://www.is.uec.ac.jp/>です。